

新春のご挨拶

明けましておめでとございます。旧年中は、JA各事業をはじめ立田支店に対し格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も落ち着き以前の生活に戻りつつあるところでありますが、経済環境においては戦争や円安の影響によりまだまだ農業者にとって厳しい状況が続くと思われま

す。そのような中、令和6年7月には海部2JAが合併し、新JAあいち海部がスタートいたします。引き続き組合員及び地域の皆様に立田支店を通じ繋がりを深め暮らしをサポートできるよう努めてまいります。最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



【年末防犯チラシ配布】



12月15日の年金受給日に併せ支店窓口及びATMご利用者に対し立田南・北両駐在員さんにもご協力いただきチラシを配布し詐欺防止等の啓もう活動を行いました。

←チラシを配布する駐在さんと職員

【冬休み企画 書道教室】

夏休み企画に続き、冬休みにも開催して欲しいとの要望もあり12月26日午前午後各1回開催し、22名の小中学生の皆さんにご参加いただきました。



真剣に取り組む生徒さんの様子 → ※作品は支店ロビーに1/31迄掲示します。



【1月の雑学】

鏡開き(かがみびらき)： 1月11日に行われる「鏡開き」は、正月にお供えした「鏡餅」を手や木槌で割り、お雑煮やお汁粉に入れて食べる行事で、歳神様が宿った餅をいただいてそのご加護にあずかる意味合いがあります。



江戸時代の武家社会において、切腹を連想させる「切る」や「割る」という言葉は忌み嫌われていて、代わりに縁起の良い「開く」を用いたことが「鏡開き」の名の由来だと言われています。ちなみに、始まりは江戸時代の事で、男性が武具に、女性が鏡台に供えた餅を割って食べたという武家の習わしが起源になっています。

鏡餅(かがみもち)：「鏡餅」は、歳神様の魂の宿る依り代(よりしろ)であり、一般的に、大小2つの丸くて平たい餅を重ね、それを三方(さんぼう)に乗せて橙(だいたい)・裏白(うらじろ)などを添えてお正月の日に床の間や神棚に飾ります。鏡餅の下に裏白(葉の裏側が白いシダ植物の葉)を敷くのは、清廉潔白(後ろが後ろが白い=後ろめたいことがない)を示すため、上に橙(だいたい)を載せるのは、実が熟しても木から落ちないその特性にあやかって、家が代々栄えるよう祈願するためです。



まちがいさがし

みぎとひだりのえから まちがいを8こさがしてね



【立田女性部 筆ペン教室作品展示中】
立田支店では、現在女性部立田地区筆ペン教室での日頃の練習の成果として15点の作品を支店ロビーに展示しています。



部員みなさんの力作をぜひご覧ください。



愛知署管内



ナンバープレート盗難被害 多発!

名古屋 3 ● 3

あ . . . 1

名古屋 3 ● 4

ち . . . 7 3

尾張小牧 5 ● A

せ . . . 7 7

名古屋 5 ● A

な . . . 7 5 8

上記のような**1桁、2桁、3桁**のナンバープレートに被害が集中しています。

「**ナンバープレート盗難ネジ**」を活用し、被害を防止しましょう。



- ・ 防犯カメラやセンサーライトのある駐車場を利用しましょう
- ・ 不審者や不審車両を見かけたら110番通報を!



【間違い探し解答】

- ① 引き出し最上段の幅
- ② みかん
- ③ 野球ボール
- ④ オレンジ猫の腕
- ⑤ 右のクレヨンの色
- ⑥ こたつ布団の右側
- ⑦ 湯気
- ⑧ 窓の空の色

公式ホームページ



公式

Instagram



公式

LINE 友だち登録



公式

YouTube 動画

